

おはし



8月4日は「はしの日」

かのやの
食べて育む
知恵袋
2022.8

おはしは、日本人の一生は「箸に始まり、箸に終わる」と言われるほど共にあり、毎日の食事のなかで、欠かせない道具です。
おはしを上手に持って使いこなしていますか？

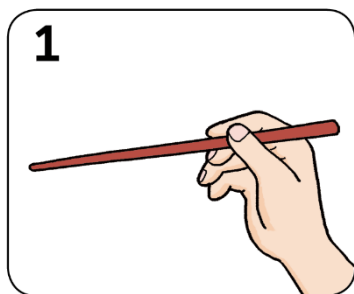
いろいろな使い方ができるおはし



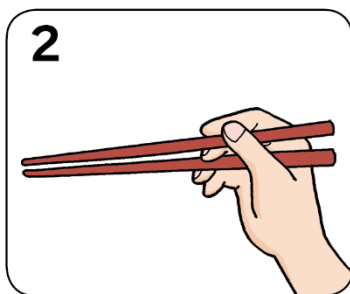
はしは、つまむ、はさむ、切る、くるむ、混ぜるなど、いろいろな使い方ができる万能な道具です。



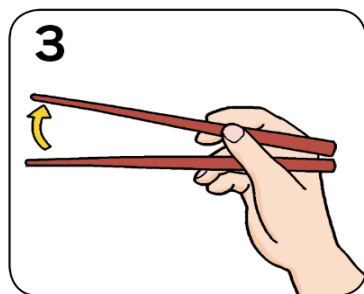
正しいはしの持ち方



1 上のはしは、正しい鉛筆の持ち方で軽く持ち、数字の1を書くように縦に動かしてみましょう。

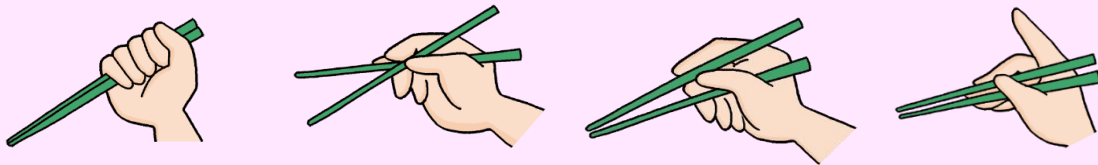


2 下のはしは、親指の付け根から、中指と薬指の間に通します。はし先はそろえます。



3 親指を支点にして、中指で上のはしを持ち上げ、上のはしだけ動かしましょう。

こんな持ち方をしていませんか？



はしの持ち方がおかしいと、食べ物をうまくつかめなかったり、魚の骨を取り除くような細かい作業がしにくかったりします。